

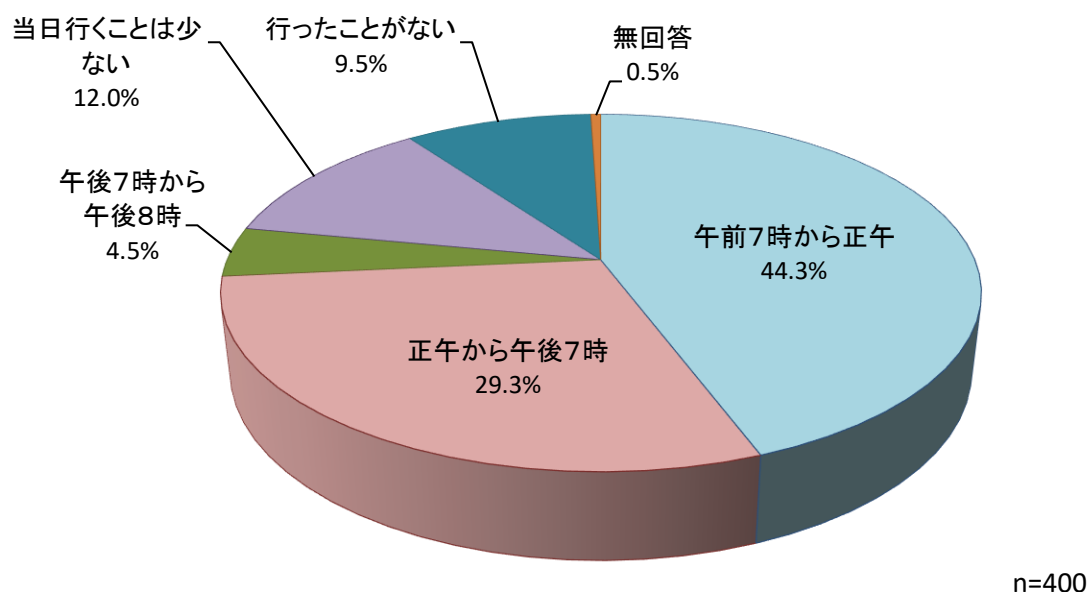
### 1 3. 選挙の環境向上に向けた取組について

(1) どの時間帯で投票所へ行くことが多いか

#### ◇ 「午前7時から正午」が4割半ば

問 4 9	あなたは、選挙当日どの時間帯で投票所へ投票に行くことが多いですか。(○は1つ)	n=400
1	午前7時から正午	44.3%
2	正午から午後7時	29.3%
3	午後7時から午後8時	4.5%
4	当日行くことは少ない	12.0%
5	行ったことがない	9.5%
	(無回答)	0.5%

<図IV-13-1>全体



どの時間帯で投票所へ行くことが多いかについては、「午前7時から正午」が44.3%で最も高く、次いで「正午から午後7時」が29.3%、「当日行くことは少ない」12.0%と続いている。(図IV-13-1)

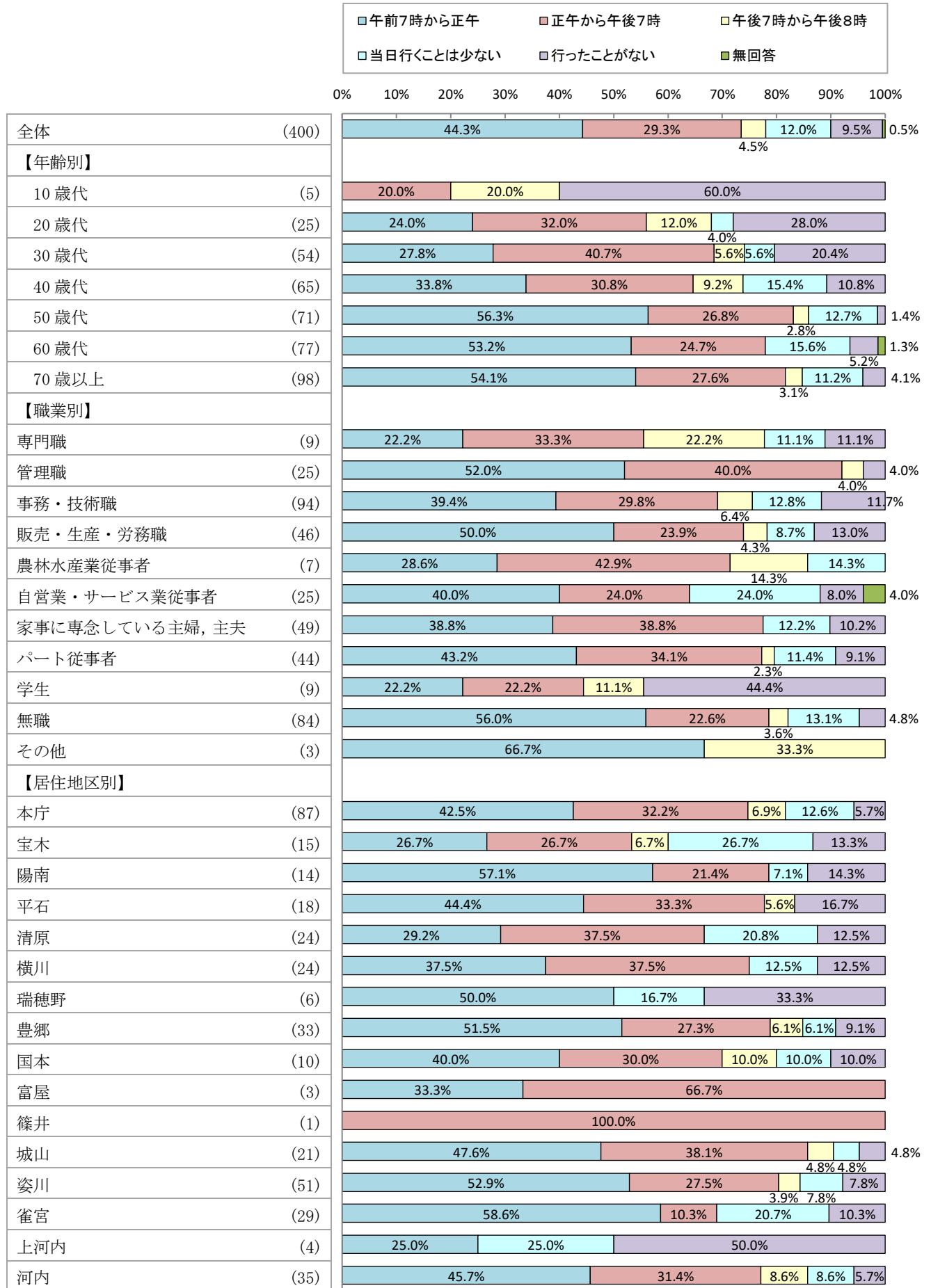
#### <参考>

年齢別でみると、「午前7時から正午」は<50歳代>が56.3%で最も高く、次いで<70歳以上>が54.1%と続いている。「正午から午後7時」は<30歳代>が40.7%で最も高く、次いで<20歳代>が32.0%と続いている。(図IV-13-2)

職業別でみると、「午前7時から正午」は<その他>を除くと<無職>が56.0%で最も高く、次いで<管理職>が52.0%と続いている。「正午から午後7時」は<農林水産業従事者>が42.9%で最も高く、次いで<管理職>が40.0%と続いている。(図IV-13-2)

居住地域別でみると、「午前7時から正午」は<雀宮>が58.6%で最も高く、次いで<陽南>が57.1%と続いている。「正午から午後7時」は<篠井>が100.0%で最も高く、次いで<富屋>が66.7%と続いている。(図IV-13-2)

<図Ⅳ-13-2>年齢別／職業別／居住地区別

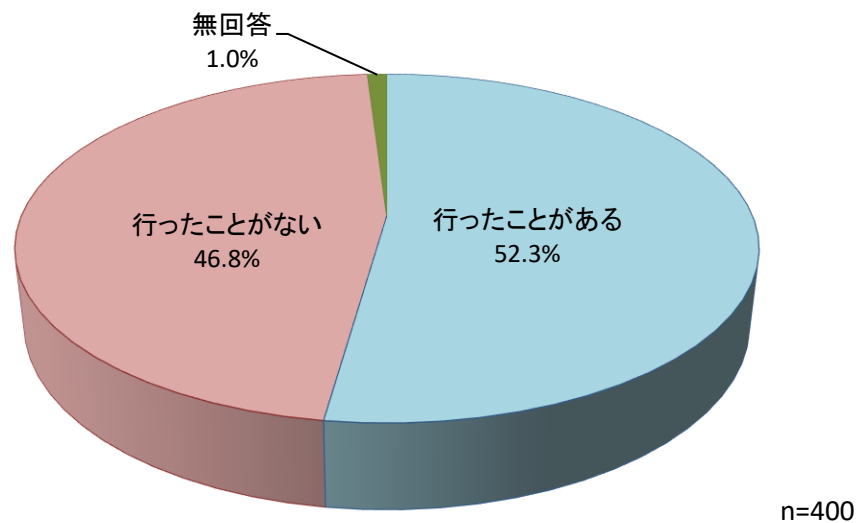


(2) 期日前投票所に行って投票をしたことがあるか

◇ 「行ったことがある」が5割強

問50	あなたは、これまでに期日前投票所に行って投票をしたことがありますか。(○は1つ)	n=400
1	行ったことがある	52.3%
2	行ったことがない	46.8%
	(無回答)	1.0%

<図IV-13-3>全体



期日前投票所に行って投票をしたことがあるかについては、「行ったことがある」が52.3%で最も高かった。(図IV-13-3)

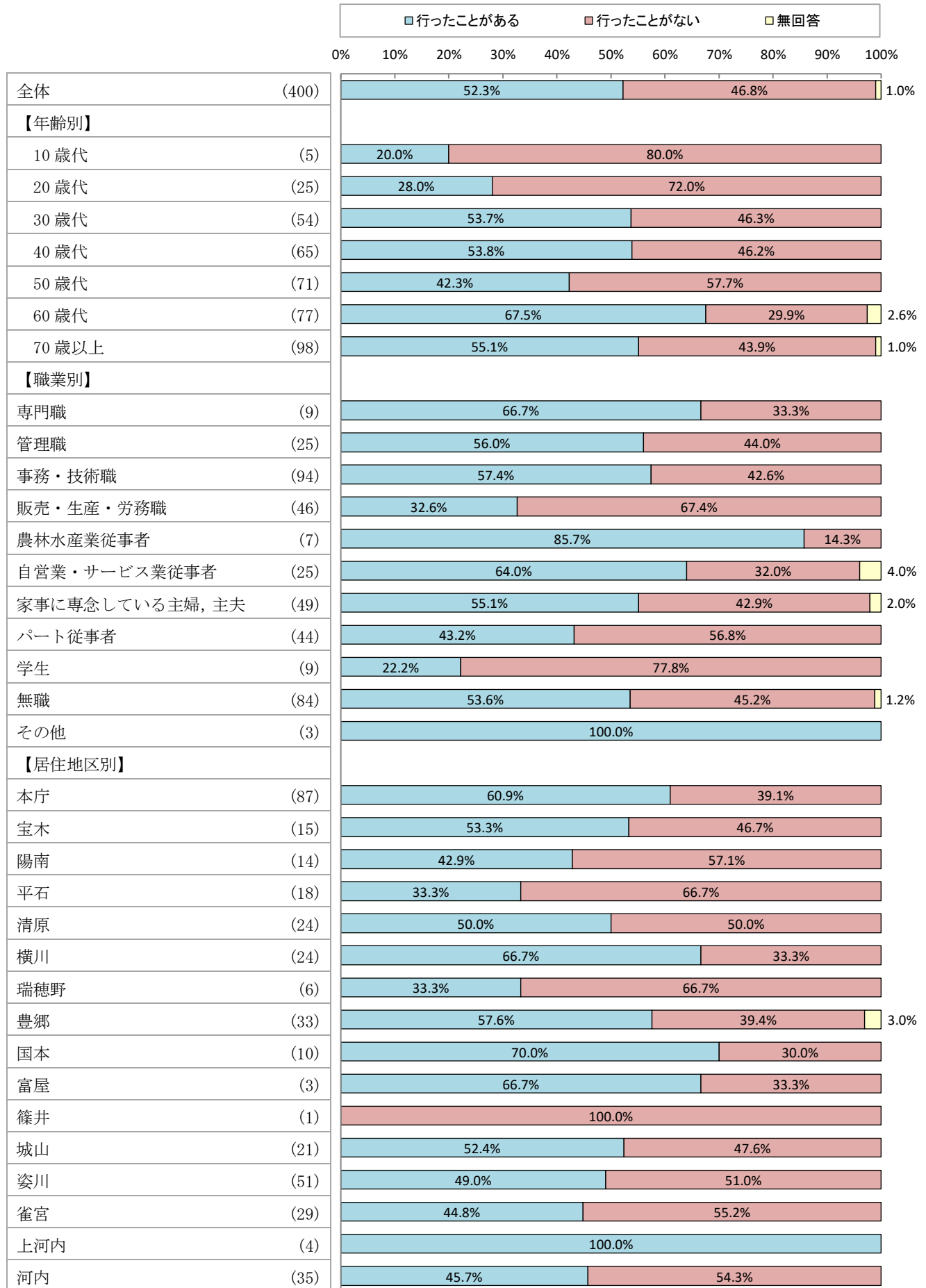
<参考>

年齢別でみると、「行ったことがある」は<60歳代>が67.5%で最も高く、次いで<70歳以上>が55.1%と続いている。一方、「行ったことがない」は<10歳代>が80.0%で最も高く、次いで<20歳代>が72.0%と続いている。(図IV-13-4)

職業別でみると、「行ったことがある」は<その他>を除くと<農林水産業従事者>が85.7%で最も高く、次いで<専門職>が66.7%と続いている。一方、「行ったことがない」は<学生>が77.8%で最も高く、次いで<販売・生産・労務職>が67.4%と続いている。(図IV-13-4)

居住地区別でみると、「行ったことがある」は<上河内>が100.0%で最も高く、次いで<国本>が70.0%と続いている。一方、「行ったことがない」は<篠井>が100.0%で最も高く、次いで<平石>、<瑞穂野>がいずれも66.7%と続いている。(図IV-13-4)

<図IV-13-4>年齢別／職業別／居住地区別

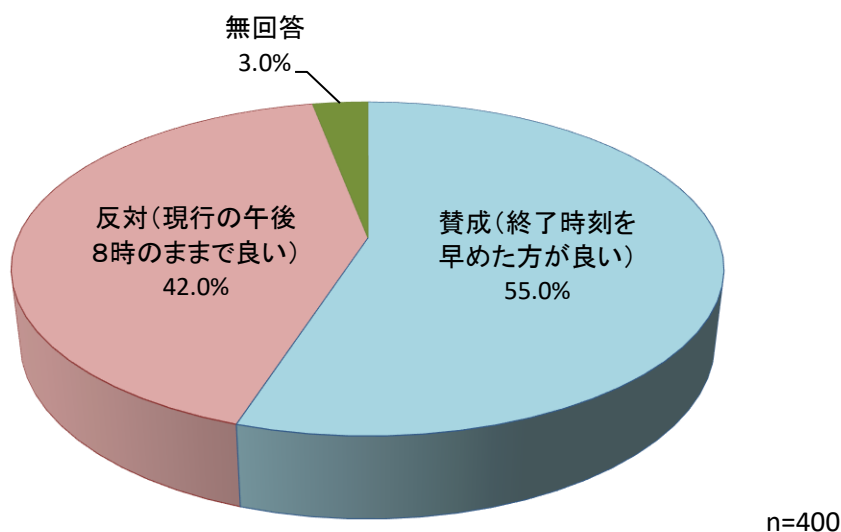


### (3) 投票所の終了時刻を早めること

#### ◇ 「賛成（終了時刻を早めた方が良い）」が5割半ば

問5 1	現在、選挙当日の投票所の終了時刻は、午後8時までとなっていますが、当日の終了時刻を早めることについてどう思いますか。（○は1つ）	n=400
1	賛成（終了時刻を早めた方が良い）	55.0%
2	反対（現行の午後8時のままで良い）	42.0%
	（無回答）	3.0%

<図IV-13-5>全体



投票所の終了時刻を早めることについては、「賛成（終了時刻を早めた方が良い）」が55.0%で最も高くなっている。（図IV-13-5）

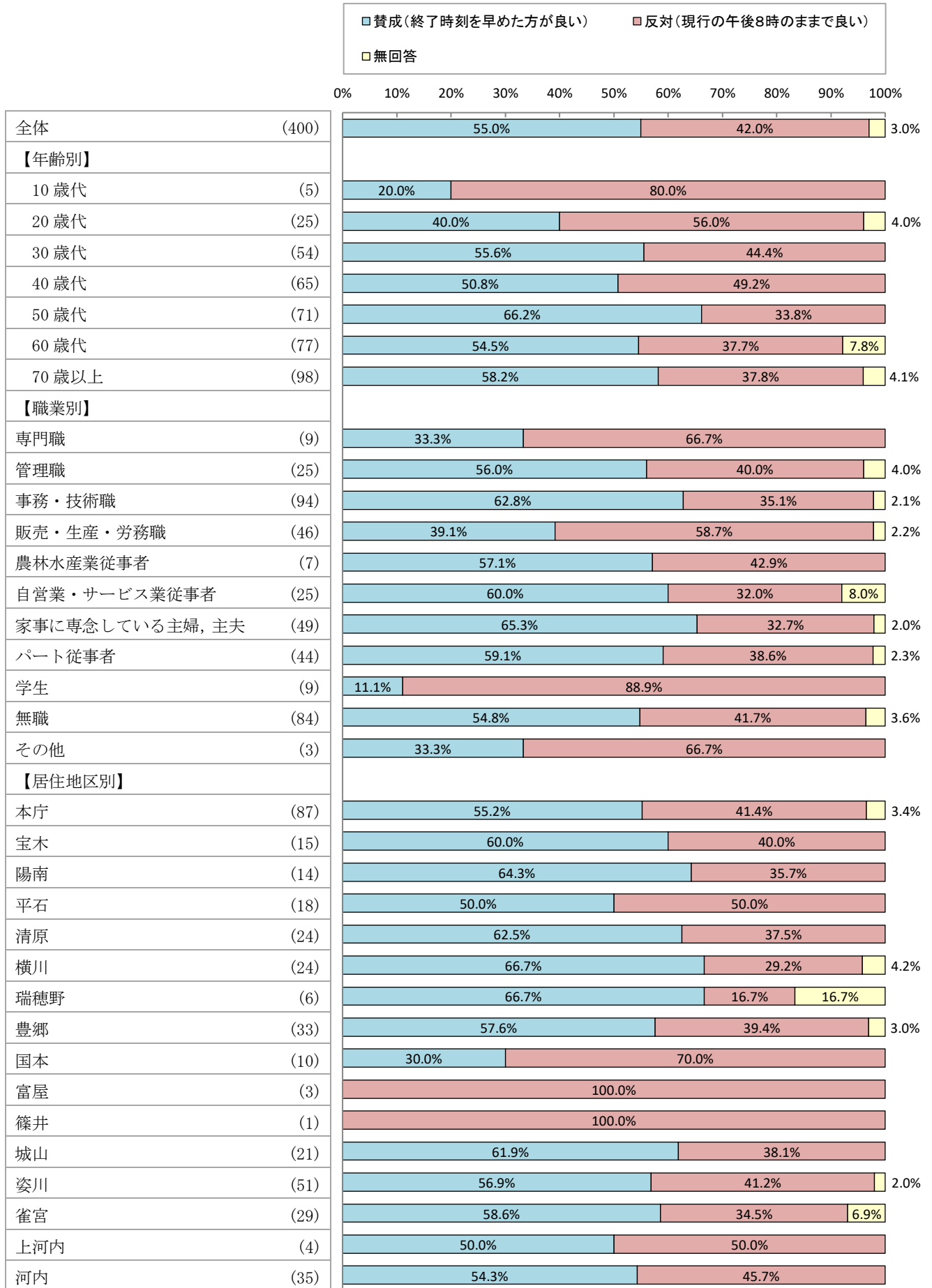
#### <参考>

年齢別でみると、「賛成（終了時刻を早めた方が良い）」は<50歳代>が66.2%で最も高く、次いで<70歳以上>が58.2%と続いている。一方、「反対（現行の午後8時のままで良い）」は<10歳代>が80.0%で最も高く、次いで<20歳代>が56.0%と続いている。（図IV-13-6）

職業別でみると、「賛成（終了時刻を早めた方が良い）」は<家事に専念している主婦、主夫>が65.3%で最も高く、次いで<事務・技術職>が62.8%と続いている。一方、「反対（現行の午後8時のままで良い）」は<学生>が88.9%で最も高く、次いで<その他>を除くと<専門職>が66.7%と続いている。（図IV-13-6）

居住地区別でみると、「賛成（終了時刻を早めた方が良い）」は<横川>、<瑞穂野>がいずれも66.7%で最も高く、次いで<陽南>が64.3%と続いている。一方、「反対（現行の午後8時のままで良い）」は<富屋>、<篠井>がいずれも100.0%で最も高く、次いで<国本>が70.0%と続いている。（図IV-13-6）

<図IV-13-6>年齢別／職業別／居住地区別

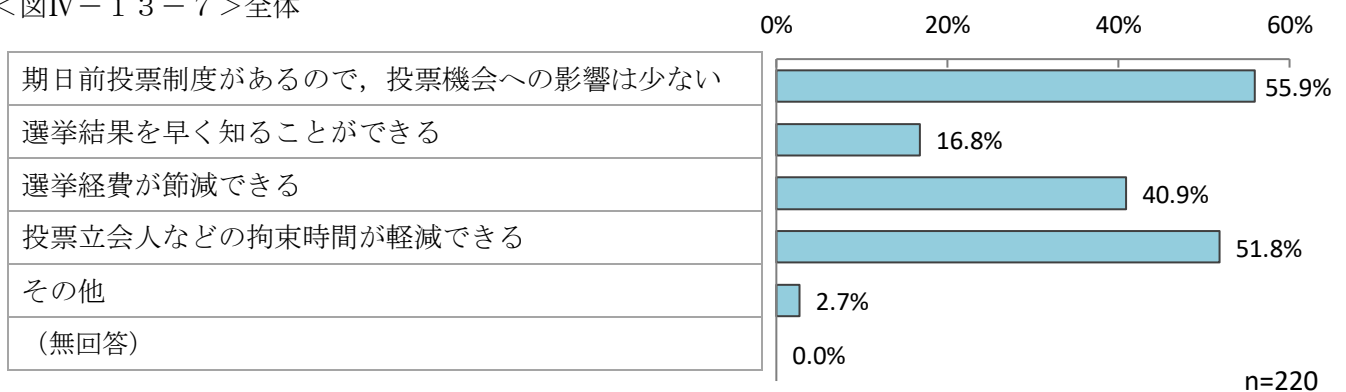


(4) 終了時刻を早めることに賛成する理由

◇ 「期日前投票制度があるので、投票機会への影響は少ない」が5割半ば

問5 2	問5 1で「1 賛成」と回答した方にお聞きします。投票所の終了時刻を早めることに賛成する理由は何ですか。	(○は2つまで)	n=220
1	期日前投票制度があるので、投票機会への影響は少ない		55.9%
2	選挙結果を早く知ることができる		16.8%
3	選挙経費が節減できる		40.9%
4	投票立会人などの拘束時間が軽減できる		51.8%
5	その他		2.7%
	(無回答)		0.0%

<図IV-13-7>全体



終了時刻を早めることに賛成する理由については、「期日前投票制度があるので、投票機会への影響は少ない」が55.9%で最も高く、次いで「投票立会人などの拘束時間が軽減できる」が51.8%、「選挙経費が節減できる」が40.9%と続いている。(図IV-13-7)

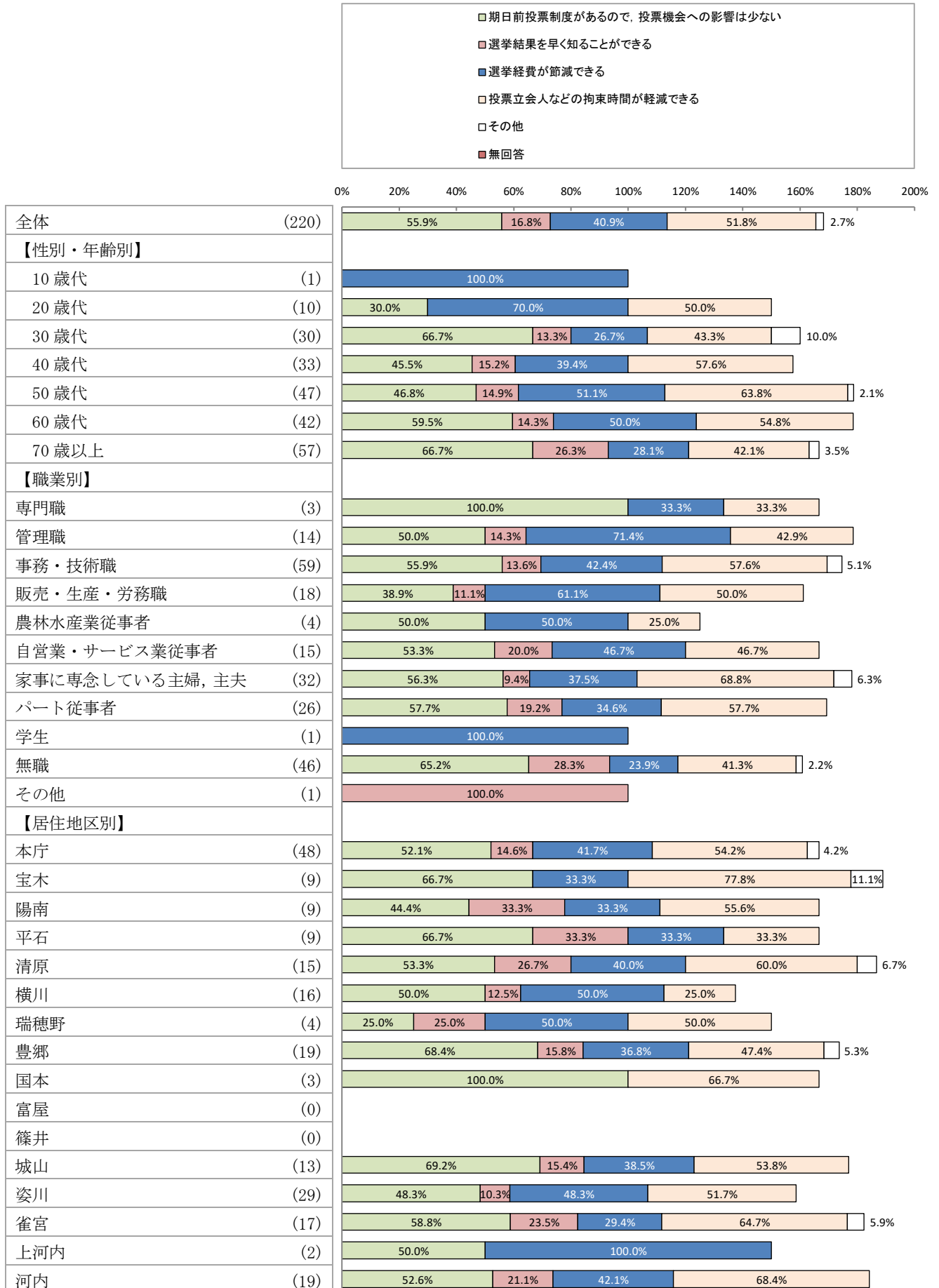
<参考>

年齢別でみると、「期日前投票制度があるので、投票機会への影響は少ない」は<30歳代>、<70歳以上>がいずれも66.7%で最も高く、次いで<60歳代>が59.5%と続いている。「投票立会人などの拘束時間が軽減できる」は<50歳代>が63.8%で最も高く、次いで<40歳代>が57.6%と続いている。(図IV-13-8)

職業別でみると、「期日前投票制度があるので、投票機会への影響は少ない」は<専門職>が100.0%で最も高く、次いで<無職>が65.2%と続いている。「投票立会人などの拘束時間が軽減できる」は<家事に専念している主婦、主夫>が68.8%で最も高く、次いで<パート従事者>が57.7%と続いている。(図IV-13-8)

居住地区別でみると、「期日前投票制度があるので、投票機会への影響は少ない」は<国本>が100.0%で最も高く、次いで<城山>が69.2%と続いている。「投票立会人などの拘束時間が軽減できる」は<宝木>が77.8%で最も高く、次いで<河内>が68.4%と続いている。(図IV-13-8)

<図IV-13-8>年齢別／職業別／居住地区別



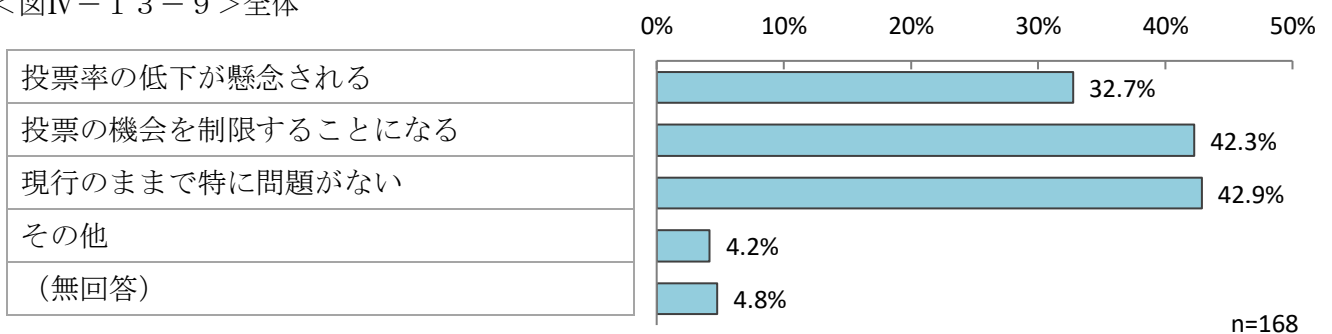


(5) 終了時刻を早めることに反対する理由

◇ 「投票の機会を制限することになる」、「現行のままで特に問題がない」が4割強

問53	問51で「2 反対」と回答した方にお聞きします。投票所の終了時刻を早めることに反対する理由は何ですか。	(○は2つまで)	n=168
1	投票率の低下が懸念される		32.7%
2	投票の機会を制限することになる		42.3%
3	現行のままで特に問題がない		42.9%
4	その他		4.2%
	(無回答)		4.8%

<図IV-13-9>全体



終了時刻を早めることに反対する理由については、「現行のままで特に問題がない」が42.9%で最も高く、次いで「投票の機会を制限することになる」が42.3%、「投票率の低下が懸念される」が32.7%と続いている。(図IV-13-9)

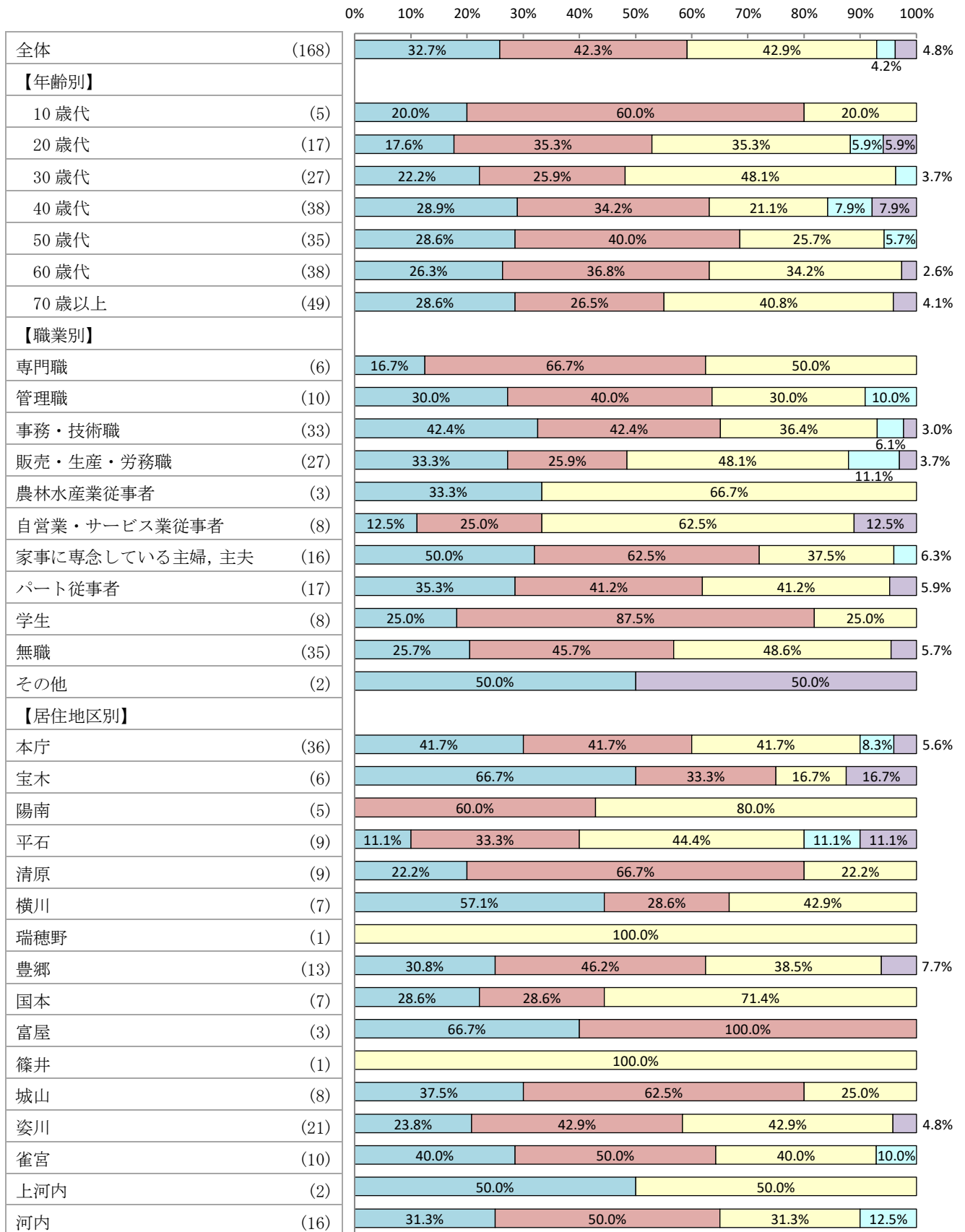
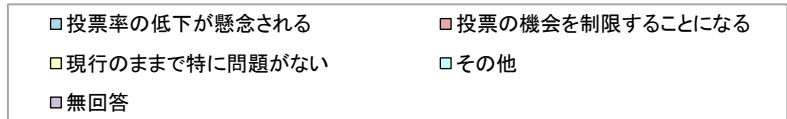
<参考>

年齢別でみると、「現行のままで特に問題がない」は<30歳代>が48.1%で最も高く、次いで<70歳以上>が40.8%と続いている。「投票の機会を制限することになる」は<10歳代>が60.0%で最も高く、次いで<50歳代>が40.0%と続いている。(図IV-13-10)

職業別でみると、「現行のままで特に問題がない」は<農林水産業従事者>が66.7%で最も高く、次いで<自営業・サービス業従事者>が62.5%と続いている。「投票の機会を制限することになる」は<学生>が87.5%で最も高く、次いで<専門職>が66.7%と続いている。(図IV-13-10)

居住地区別でみると、「現行のままで特に問題がない」は<瑞穂野>、<篠井>がいずれも100.0%で最も高く、次いで<陽南>が80.0%と続いている。「投票の機会を制限することになる」は<富屋>が100.0%で最も高く、次いで<清原>が66.7%と続いている。(図IV-13-10)

<図Ⅳ-13-10>年齢別／職業別／居住地区別

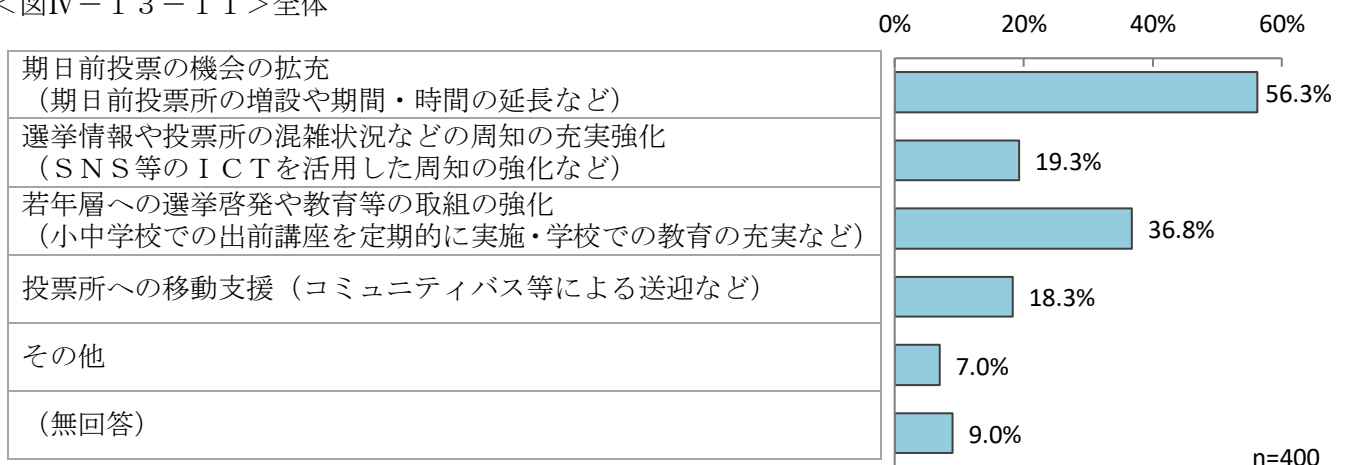


(6) 選挙の環境向上に役に立つと思う取組

◇ 「期日前投票の機会の拡充（期日前投票所の増設や期間・時間の延長など）」が5割半ば

問54	「選挙当日の投票所の終了時刻を早めること」を実施した場合、併せて実施することによって、選挙の環境向上に役に立つと思う取組を選んでください。（○は2つまで）	n=400
1	期日前投票の機会の拡充（期日前投票所の増設や期間・時間の延長など）	56.3%
2	選挙情報や投票所の混雑状況などの周知の充実強化（SNS等のICTを活用した周知の強化など）	19.3%
3	若年層への選挙啓発や教育等の取組の強化（小中学校での出前講座を定期的実施・学校での教育の充実など）	36.8%
4	投票所への移動支援（コミュニティバス等による送迎など）	18.3%
5	その他	7.0%
	（無回答）	9.0%

<図IV-13-11>全体



選挙の環境向上に役に立つと思う取組については、「期日前投票の機会の拡充（期日前投票所の増設や期間・時間の延長など）」が56.3%で最も高く、次いで「若年層への選挙啓発や教育等の取組の強化（小中学校での出前講座を定期的実施・学校での教育の充実など）」が36.8%、「選挙情報や投票所の混雑状況などの周知の充実強化（SNS等のICTを活用した周知の強化など）」が19.3%と続いている。（図IV-13-11）

<参考>

年齢別でみると、「期日前投票の機会の拡充（期日前投票所の増設や期間・時間の延長など）」は<60歳代>が46.8%で最も高く、次いで<40歳代>が45.1%と続いている。「若年層への選挙啓発や教育等の取組の強化（小中学校での出前講座を定期的実施・学校での教育の充実など）」は<10歳代>が33.3%で最も高く、次いで<20歳代>が30.0%と続いている。（図IV-13-12）

職業別でみると、「期日前投票の機会の拡充（期日前投票所の増設や期間・時間の延長など）」は<農林水産業従事者>が100.0%で最も高く、次いで<専門職>が77.8%と続いている。「若年層への選挙啓発や教育等の取組の強化（小中学校での出前講座を定期的実施・学校での教育の充実など）」は<学生>が66.7%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦、主夫>が49.0%と続いている。（図IV-13-12）

居住地区別でみると、「期日前投票の機会の拡充（期日前投票所の増設や期間・時間の延長など）」は<国本>が90.0%で最も高く、次いで<上河内>が75.0%と続いている。「若年層への選挙啓発や教育等の取組の強化（小中学校での出前講座を定期的実施・学校での教育の充実など）」は<篠井>が100.0%で最も高く、次いで<富屋>が66.7%と続いている。（図IV-13-12）

<図Ⅳ-13-12>年齢別／職業別／居住地区別

- 期日前投票の機会の拡充(期日前投票所の増設や期間・時間の延長など)
- 選挙情報や投票所の混雑状況などの周知の充実強化  
(SNS等のICTを活用した周知の強化など)
- 若年層への選挙啓発や教育等の取組の強化  
(小中学校での出前講座を定期的実施・学校での教育の充実など)
- 投票所への移動支援(コミュニティバス等による送迎など)
- その他
- 無回答

